児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議 審議まとめ【概要】（令和3年6月）

○ コロナ禍における**児童生徒の自殺者数は増加**傾向（R2:499人）にあり、特に女子高校生の自殺者数は増加（R2:140人）が著しい。
原因・動機としては、「**進路に関する悩み**（入試に関するものを除く）」、「**学業不振**」、「**親子関係の不和**」が**例年上位**。

○ 今後の課題として、SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防教育による**援助希求的態度の育成**、**相談体制等の整備**に加え、ハイリスクな児童生徒の早期発見・対応に資する**ICTの活用**も重要。また、学校現場に限らない背景による自殺に対応するため、**関係機関との連携体制の点検・見直し**が重要。

第Ⅰ部　コロナ禍における児童生徒の自殺等に関する課題と対策

・コロナ禍における児童生徒の**自殺の現状**（自殺者数の推移・背景）**と課題**の整理。
・　〃　自殺予防等のために**早急に講じるべき具体的施策**。

現状

児童生徒の自殺者数
・**令和２年499人に増加**。前年(R1:399人)に比べ100人増加。
・特に女子高校生の増加が著しい。80人(R1) →140人(R2) 。

自殺の原因・動機、背景等
・**進路に関する悩み**(入試に関する悩みを除く)、**学業不振**、**親子関係の不和が上位**３項目。
・家庭環境：家族内葛藤等の**家庭環境の不和**。
学校環境：**息抜きの場所**、達成感等が得られる**自分を支える場所**などの日常が**変化**。
・女子の自殺の要因は「病気の悩み・影響」が上位。

※数値については厚生労働省「自殺の統計」を参照。

必要な施策

心の健康の保持増進に係る教育及び啓発の推進
・**SOSの出し方に関する教育**を含む自殺予防教育の充実。
・**心の健康の保持に必要なマンパワーの確保**。

課題の早期発見・対応等へ向けたICT活用
・**ICTを児童生徒の状況を多面的に把握**するとともに、悩みや不安を抱える児童生徒の**早期発見・対応に寄与**。

関係機関等の連携体制の構築
・それぞれの**関係機関の役割や限界性を理解**、
・連携できる**体制の在り方を絶えず点検・補強** などに留意。

第Ⅱ部　SOSの出し方に関する教育を含めた自殺予防教育の在り方

・児童生徒の**自殺予防に関するこれまでの取組**の経緯。
・**SOSの出し方**に関する教育を含めた**自殺予防教育**の在り方の整理。

・SOSの出し方に関する教育を含めた自殺予防教育実施上の留意点を整理。
　－ 学校や保護者、地域の関係機関等の「関係者間の合意形成」、教育目標に即した「適切な教育内容」、「ハイリスクな子供のフォロー アップ」に留意が必要。
　－ 下地づくりの教育や児童生徒と教職員との信頼関係の構築や相談しやすい雰囲気づくり・居場所づくりが重要。